



2026年度
入会のご案内

一般社団法人
日本医療薬学会

JAPANESE SOCIETY OF PHARMACEUTICAL HEALTH CARE AND SCIENCES



日本医療薬学会は、
病院、薬局、製薬企業、教育機関、行政等に
携わる皆さんの学会です

薬のプロフェッショナルが集い、医療に直結する薬学分野の
研究・教育を通して、医薬品適正使用のための良質なエビデンスを構築し、
学術の発展と国民の福祉向上に寄与しています。

対象:薬剤師、学生、教員、製薬企業関係者、行政関係者 など

日本医療薬学会について

Japanese Society of Pharmaceutical Health Care and Sciences



第八代会頭 山本 康次郎
(2022年4月～現在)

日本医療薬学会は1990年6月に日本病院薬学会として設立され、2001年1月に日本医療薬学会に移行しました。以来、医療薬学に関連する研究や医療現場で活躍する人材の育成に多くの成果を上げ、卓越した伝統を築き、名実ともに日本の医療薬学領域を代表する学会に成長しています。

本学会では、医薬品適正使用のための良質なエビデンスを構築し、薬剤師が科学的根拠に基づいた薬物療法を実践するために様々な活動を行っています。そして、それらを通じて、医薬品の有効性・安全性の確保や医療薬学の進歩・普及、国民の福祉向上に寄与しています。

是非、本学会の活動にご一緒に取り組んでいただければ幸いです。

日本医療薬学会は、 3つの「力」を推進します



薬剤師力

良質・安全な医療を提供するためには、チーム医療において高度な専門性を発揮し活躍できる薬剤師が不可欠です。日本医療薬学会には4つの専門薬剤師制度があり、高い水準の知識や臨床能力等を備える薬剤師・指導薬剤師を養成し、認定しています。

エビデンス構築力

薬物療法は、医療技術の進展とともに年々高度化・複雑化しています。薬のリスクを最小に抑えつつ効果を最大にするには、薬物療法に関する良質なエビデンスが必要です。

日本医療薬学会では、基礎および臨床研究を通じて薬剤師業務の学術基盤を構築し、医療現場に還元するため、学術集会の開催や学術誌の発行などに取り組んでいます。

医療人に求められるもの

医療の高度化・複雑化に対応した
専門知識・技術の習得

豊かな人間性、高い倫理観、
医療人としての深い教養

問題発見能力、問題解決能力、
現場で活躍できる実践力



社会貢献力

近年、医療の質の向上および医療安全確保の観点から、多職種チーム医療の実践が求められています。

日本医療薬学会は、医療に直接携わる薬剤師だけでなく、行政、製薬企業、教育機関等、薬に関わる全ての職種の連携を推進し、社会に求められる医療人の育成に努めています。



学会活動のご紹介

Academic meeting activity



1

学術集会・セミナー等の開催

学術集会やセミナー等を数多く開催しています。



- ▶ 日本医療薬学会年会
(例年秋開催)
- ▶ 医療薬学公開シンポジウム
(年4回開催)

参加者数1万人規模の学術集会です。多数の研究成果が発表され、医療薬学領域の情報アップデートに欠かせない場となっています。

医療薬学領域における時勢のトピックス等をテーマに取り上げ、全国各地で開催しています。生涯学習の機会を提供するとともに、医療薬学領域への関心を高める貴重な機会となっています。



- ▶ フレッシャーズ・カンファランス
(例年初夏開催)
- ▶ 臨床研究セミナー
(例年春開催)

薬学生や大学院生、研究活動歴が浅い社会人薬剤師等を主な対象に、研究活動の成果発表の場として開催しています。各種発表が行われ、優秀な演題発表を表彰しています。

臨床研究活動を実践するためのノウハウや指導を受ける環境が充分ではない薬剤師を対象にしています。臨床上・臨床研究上の問題解決や、その成果を学会発表から論文化に繋げる支援をしています。



- ▶ 専門薬剤師認定取得のための薬物療法集中講義
(例年夏開催)
- ▶ がん専門薬剤師集中教育講座
(例年秋～冬開催)
- ▶ がん専門薬剤師全体会議
(例年春開催)
- ▶ がん専門薬剤師アドバンスト研修会
(年1回開催)
- ▶ 症例報告に関するセミナー等
(各制度 年1回程度開催)

各専門分野の医師・薬剤師等から、薬剤師が習得すべき基本的知識、治療法などの講義が受けられる講習会です。本学会の認定資格の取得を目指す方や既に認定資格を取得されている方は勿論、自己研鑽にも有益な講義内容です。

がん領域について、各専門分野の医師・薬剤師等から、薬剤師が習得すべき基本的知識、治療法などの講義が受けられる講習会です。本学会のがん関連の認定資格取得を目指す方や既に認定資格を取得されている方は勿論、自己研鑽にも有益な講義内容です。

全国で活躍する本学会がん専門薬剤師・がん指導薬剤師が意見交換・情報交換し、がん専門薬剤師のあり方を討議する全員参加型の教育研修会です。がん専門薬剤師の更なる意識向上と、高度がん医療に対応しうるより専門性に優れた人材の育成を目的としています。

主に本学会がん専門薬剤師・がん指導薬剤師を対象とした、臨床能力を高めるための研修会です。ディスカッションによる症例検討を中心に、がん専門薬剤師やがん薬物療法専門医による解説が行われ、安全で有効ながん治療を実践するための方法や考え方の習得を図っています。

本学会のがん専門薬剤師や薬物療法専門薬剤師、地域薬学ケア専門薬剤師の認定取得／維持を目指す方を対象に、専門薬剤師に相応しい薬学的介入の症例サマリの書き方を習得するためのセミナーやワークショップを各認定制度ごとに開催しています。



2

学術誌・出版図書の発行

● 医療薬学誌

月刊誌「医療薬学」は国内向け学術誌で、厳正な査読により質が高いと認められた医療薬学に関する投稿論文を掲載しています。和文だけでなく英文でも投稿が可能です。優れた研究成果を医療現場のみならず広く社会へ還元することを目指しています。掲載論文はJ-Stageでも閲覧可能です。



● JPHCS誌

「Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences」は、本学会が発行するオープンアクセス英文誌です。医療薬学の学問的基盤の強化と発展という学会の使命をサポートするだけでなく、研究成果を世界に向けて発信し流通させることで、医療薬学分野の発展に貢献できる国際誌を目指しています。2025年にはJournal Impact Factor 1.2 が付与されました。



● 病態を理解して組み立てる I～V

薬剤師が薬物療法に関わっていくために必要な51疾患の病態生理・検査・治療の知識と、処方提案のための具体的SOAPチャートの作成例を事例に基づいてわかりやすく解説した書籍です。



2025年度
学会賞表彰者



3 学会賞の表彰

8つの表彰制度で会員の功績を称え、成果の周知を行っています。
2025年度の表彰者は以下のとおりです。(振興賞は該当者なし)



▶ 功績賞

筑波大学附属病院
薬剤部
本間 真人さん

▶ 日本医療薬学会賞

大阪大学医学部附属病院
薬剤部
奥田 真弘さん

▶ 学術賞

昭和医科大学
統括薬剤部
百 賢二さん

▶ 奨励賞

京都薬科大学
臨床薬剤疫学分野
豕瀬 諒さん

公立陶生病院
薬剤部
梅村 拓巳さん

岩手医科大学附属病院
薬剤部
二瓶 哲さん

宮崎大学医学部附属病院
薬剤部
吉川 直樹さん

▶ 医療薬学誌論文賞

慶應義塾大学
薬学部
今井 俊吾さん

和歌山県立医科大学附属病院
薬剤部
佐野 尚平さん

国立がん研究センター
革新的がん研究支援室
佐野 慶行さん

▶ JPHCS誌論文賞

北海道大学病院
薬剤部
西村 あや子さん

岐阜大学医学部附属病院
薬剤部
藤井 友奈美さん

金沢大学大学院
医薬保健学総合研究科
水野 智詞さん

▶ Postdoctoral Award

東京大学医学部附属病院 福岡大学
薬剤部
伊藤 紗代さん

北海道大学大学院
薬学研究院
上田 一奈太さん

岡山大学病院
薬剤部
大野 由紀子さん

浜松医科大学医学部附属病院
薬剤部
丸山 真一さん

東京大学医学部附属病院
薬剤部
山口 誠さん

福岡大学筑紫病院
薬剤部
木崎 速人さん

慶應義塾大学病院
薬剤部
山田 楊太さん

清宮 啓介さん



4 調査研究・海外研修助成

● 調査研究

医療薬学領域における学術活動の推進および
学問的・技術的な向上を図ることを目的に、
公募により設定したテーマにそぐう調査研究課題を採択し、
研究資金の提供等の支援をしています。

● 海外研修助成

海外の医療機関等での研修・見学や、
国際学会での発表を行う会員を助成しています。



5 専門薬剤師の認定

良質・安全な医療を提供するため、チーム医療において高度な専門性を発揮し活躍できる能力を有する薬剤師を養成・認定しています。現在、以下4つの認定制度において専門薬剤師・指導薬剤師を認定しており、国民の保健・医療・福祉に寄与しています。

● 医療薬学専門薬剤師制度

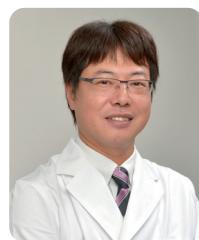
● がん専門薬剤師制度

● 薬物療法専門薬剤師制度

● 地域薬学ケア専門薬剤師制度

信頼の証～日本医療薬学会の専門薬剤師制度

Specialized pharmacist system



専門薬剤師制度運営委員会

委員長

石澤 啓介

徳島大学 教授・薬剤部長・総合臨床研究センター長

日本医療薬学会は、1998年に認定薬剤師制度を開始し、その後「がん専門薬剤師制度」「薬物療法専門薬剤師制度」が加わり、各領域の認定者育成を図ってきました。2020年には、認定薬剤師制度から「医療薬学専門薬剤師制度」への移行、「地域薬学ケア専門薬剤師制度」の新設、認定要件の統一化や連携施設制度の創設など、専門薬剤師制度の大改革を行いました。専門薬剤師制度はチーム医療で高い専門性を発揮できる薬剤師の質保証であり、患者さんに安心感を与えるもの、すなわち「信頼の証」です。病院・薬局・大学で勤務する多くの薬剤師が専門認定を取得されることを願っています。

薬物療法専門薬剤師認定委員会

委員長

関根 祐子

千葉大学大学院薬学研究院 教授



年々高度化が進む臨床現場で治療を成功させるためには、薬剤師がいかに薬物治療に貢献できるかにかかっています。薬物療法専門薬剤師は、根拠に基づいた薬物治療を実践できる薬剤師の証となるものです。多くの薬剤師の皆さんのがこの認定を取得され、臨床に貢献できる薬剤師として活躍されるこを期待しています。

薬物療法専門薬剤師： 70名
薬物療法指導薬剤師： 61名
薬物療法専門薬剤師研修施設： 261施設

薬物療法
専門薬剤師制度
主な対象者：
病院薬剤師

がん専門薬剤師認定委員会

委員長

池田 龍二

宮崎大学医学部附属病院 教授・薬剤部長



がん専門薬剤師は、がん薬物療法等において高度な知識・技術と臨床経験を有する薬剤師です。がん患者さんや他職種が何を求めているかを絶えず意識し、薬剤師として今何をすべきなのか、あるいは、自分は将来どんな薬剤師になりたいのかを考えたときに1つの目標となるのが、がん専門薬剤師であると思います。

.... がん専門薬剤師： 827名
.... がん指導薬剤師： 382名
.... がん専門薬剤師研修施設： 339施設

がん
専門薬剤師制度
主な対象者：
病院薬剤師

医療薬学専門薬剤師： 1,548名
医療薬学指導薬剤師： 833名
医療薬学専門薬剤師研修施設： 354施設

医療薬学
専門薬剤師制度
主な対象者：
臨床系教員薬剤師

地域薬学ケア
専門薬剤師制度
主な対象者：
薬局薬剤師

.... 地域薬学ケア専門薬剤師(暫定認定)： 66名
.... 地域薬学ケア専門薬剤師(がん) (暫定認定)： 148名
.... 地域薬学ケア専門薬剤師研修施設(基幹施設)： 210施設
.... 地域薬学ケア専門薬剤師研修施設(連携施設)： 176施設



「医療薬学専門薬剤師」は、「医療薬学に関する高い知識・技能を備え、かつ社会から信頼される薬剤師を養成し、認定者自らの臨床経験に基づいた教育・研究活動の実践を促進することで、医療薬学の進歩・普及と国民の保健・医療・福祉に寄与すること」を目的として制定されています。一人でも多くの先生方に「医療薬学専門薬剤師」になっていただくよう、お待ちしています。

医療薬学専門薬剤師認定委員会

委員長

花輪 剛久

東京理科大学薬学部薬学科 教授



本制度は、薬局薬剤師を対象とした認定制度です。地域医療において質の高い薬学ケアを実施するため、様々な領域の薬物療法において高度な知識、技能および臨床能力を修得することができる制度です。「地域薬学ケア専門薬剤師」と副領域を定めた「地域薬学ケア専門薬剤師(がん)」の認定を行います。より質の高い薬局薬剤師業務の実践にお役立てください。

地域薬学ケア専門薬剤師認定委員会

委員長

豊見 敦

南海老園豊見薬局 管理薬剤師

第36回日本医療薬学会年会のご案内

この度、第36回日本医療薬学会年会を2026年11月21日(土)～23日(月・祝)の3日間、石川県立音楽堂他において開催する運びとなりました。

本年会のテーマは「**2040年の社会課題を解決する医療薬学の融合研究～すべての薬剤師が集う学術的基盤を目指して～**」です。2040年の社会課題は、人口構造の変化、医療・介護をはじめとする社会保障制度の逼迫、社会資本の希薄化、自治体機能の低下、地域格差の拡大など複合的な問題です。これらに対応するためには、新たな地域医療構想を支える医療人材の確保と育成、薬剤師業務の再設計とアウトカム評価、入院・在宅・外来をつなぐ医療連携における職能発揮モデルの構築、介入効果の測定、医療DXやICT機器の活用、多職種連携教育と実務実習の統合設計、政策提言・制度設計に関する研究など、様々な融合研究の推進が必要です。

本年会が、医療と健康に関わる全ての方にとって、薬学生や住民も交えた討論・学び・発見・交流の場となり、新しい未来への出発点になることを心から願っています。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

第36回日本医療薬学会年会 年会長 崔 吉道

金沢大学附属病院 教授・薬剤部長

会期

2026年 11/21(土)・22(日)・23(月祝)

年会長

崔 吉道 金沢大学附属病院 教授・薬剤部長

会場

石川県立音楽堂(金沢市)ほか

テーマ

**2040年の社会課題を解決する医療薬学の融合研究
～すべての薬剤師が集う学術的基盤を目指して～**

年会ホームページ

<https://www.c-linkage.co.jp/36jsphcs/>



第9回フレッシャーズ・カンファレンスのご案内

フレッシャーズ・カンファレンスは、薬学部学生や大学院生、研究経験の浅い薬剤師などの若い世代が学会発表の基本を学び、研究意欲を高める場として発展してきました。

第9回を迎える今回は、新しい試みとして「フレッシャーズOB/OGセッション」を企画しました。AI技術の進展や地域包括ケアの進展など、若手薬剤師を取り巻く社会環境が大きく変化する中で、自らの将来像を描く契機としていただけると考えております。

口頭発表・ポスター発表の他、優秀演題の表彰、懇親会も設けましたので、発表の有無を問わず交流と議論の場としてご活用ください。多くの皆様の演題登録とご参加を心よりお待ちしております。

第9回フレッシャーズ・カンファレンス 実行委員長 濃沼 政美
帝京平成大学薬学部・大学院薬学研究科

会期

2026年 7/4(土)午後・5(日)午前

会場

帝京平成大学中野キャンパス(東京都中野区)

URL

<https://fc.jsphcs.jp/2026/>

会員になるには？ 一入会について

日本医療薬学会は、約14,000名の会員(2025年度)を擁する、本分野における国内最大の学会です。

現役薬剤師の方々、将来の医療薬学に関わる薬学生の方々、その他、医療薬学に関心のある方々の入会を心からお待ちしています。

会員メリット

- 1.学会誌「医療薬学」(月刊)が送付されます。
- 2.学会誌「医療薬学」の投稿料や
オーブンアクセスジャーナル「JPHCS誌」の掲載料の
補助を受けられます。
- 3.本学会各専門薬剤師および指導薬剤師の
認定取得への道が開けます。
- 4.本学会年会、研修会、セミナー等に会員価格で参加できます。
- 5.本学会事業に関する情報がメールで届きます。

会員資格・年会費

医療薬学に関心のある方なら誰でも会員になることができます。

年会費

正会員 9,500円

学生会員 2,000円

入会の手続き

お申込みはHPから [日本医療薬学会 入会](https://www.jsphcs.jp/membership/)

検索

<https://www.jsphcs.jp/membership/>

詳しい情報についてはホームページにアクセスしてください。



学会事務局

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15 日本薬学会 長井記念館7階

TEL:03-3406-0787(代表) FAX:03-3406-0789

URL <https://www.jsphcs.jp/> E-mail info@jsphcs.jp



日本医療薬学会について

Japanese Society of Pharmaceutical Health Care and Sciences



第八代会頭 山本 康次郎
(2022年4月～現在)

日本医療薬学会は、 3つの「力」を推進します



薬剤師力

良質・安全な医療を提供するためには、チーム医療において高度な専門性を発揮し活躍できる薬剤師が不可欠です。日本医療薬学会には4つの専門薬剤師制度があり、高い水準の知識や臨床能力等を備える薬剤師・指導薬剤師を養成し、認定しています。

エビデンス構築力

薬物療法は、医療技術の進展とともに年々高度化・複雑化しています。薬のリスクを最小に抑えつつ効果を最大にするには、薬物療法に関する良質なエビデンスが必要です。日本医療薬学会では、基礎および臨床研究を通じて薬剤師業務の学術基盤を構築し、医療現場に還元するため、学術集会の開催や学術誌の発行などに取り組んでいます。

医療人に求められるもの

医療の高度化・複雑化に対応した専門知識・技術の習得
豊かな人間性、高い倫理観、医療人としての深い教養
問題発見能力、問題解決能力、現場で活躍できる実践力



社会貢献力

近年、医療の質の向上および医療安全確保の観点から、多職種チーム医療の実践が求められています。日本医療薬学会は、医療に直接携わる薬剤師だけでなく、行政、製薬企業、教育機関等、薬に関わる全ての職種の連携を推進し、社会に求められる医療人の育成に努めています。



学会活動のご紹介

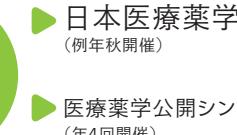
Academic meeting activity

2025年度
学会賞表彰者

26名

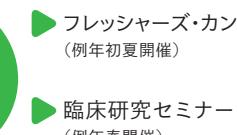
1 学術集会・セミナー等の開催

学術集会やセミナー等を数多く開催しています。



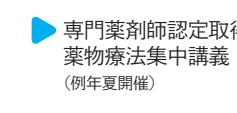
日本医療薬学会年会 (例年秋開催)

医療薬学公開シンポジウム (年4回開催)

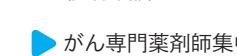


フレッシャーズ・カンファレンス (例年初夏開催)

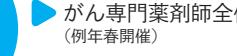
臨床研究セミナー (例年春開催)



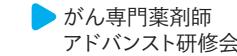
専門薬剤師認定取得ための薬物療法集中講義 (例年夏開催)



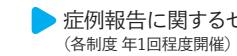
がん専門薬剤師集中教育講座 (例年秋～冬開催)



がん専門薬剤師全体会議 (例年春開催)



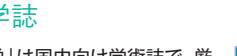
がん専門薬剤師アドバンスト研修会 (年1回開催)



症例報告に関するセミナー等 (各制度 年1回程度開催)



さらなる知識や最新情報を習得したい方に おくる情報



JPHCS誌

月刊誌「医療薬学」は国内向け学術誌で、厳正な査読により質が高く認められた医療薬学に関する投稿論文を掲載しています。和文だけではなく英文でも投稿が可能です。優れた研究成果を医療現場のみならず広く社会へ還元することを目指しています。掲載論文はJ-Stageでも閲覧可能です。



病態を理解して組み立てる I～V

薬剤師が薬物療法に関わっていくために必要な51疾患の病態生理・検査・治療の知識と、処方提案のための具体的SOAPチャートの作成例を事例に基づいてわかりやすく解説した書籍です。

参加者数1万人規模の学術集会です。多数の研究成果が発表され、医療薬学領域の情報アップデートに欠かせない場となっています。

医療薬学領域における時勢のトピックス等をテーマに取り上げ、全国各地で開催しています。生涯学習の機会を提供するとともに、医療薬学領域への関心を高める貴重な機会となっています。

薬学生や大学院生、研究活動歴が浅い社会人薬剤師等を主な対象に、研究活動の成果発表の場として開催しています。各種発表が行われ、優秀な演題発表を表彰しています。

臨床研究活動を実践するためのノウハウや指導を受ける環境が充分ではない薬剤師を対象にしています。臨床上・臨床研究上の問題解決や、その成果を学会発表から論文化に繋げる支援をしています。

各専門分野の医師・薬剤師等から、薬剤師が習得すべき基本的知識、治療法などの講義が受けられる講習会です。本学会の認定資格の取得を目指す方や既に認定資格を取得されている方は勿論、自己研鑽にも有益な講義内容です。

がん領域について、各専門分野の医師・薬剤師等から、薬剤師が習得すべき基本的知識、治療法などの講義が受けられる講習会です。本学会のがん関連の認定資格取得を目指す方や既に認定資格を取得されている方は勿論、自己研鑽にも有益な講義内容です。

全国で活躍する本学会がん専門薬剤師・がん指導薬剤師が意見交換・情報交換し、がん専門薬剤師のあり方を討議する全員参加型の教育研修会議です。がん専門薬剤師の更なる意識向上と、高度がん医療に対応しうるより専門性に優れた人材の育成を目的としています。

主に本学会がん専門薬剤師・がん指導薬剤師を対象とした、臨床能力を高めるための研修会です。ディスカッションによる症例検討を中心に、がん専門薬剤師やがん薬物療法専門医による解説が行われ、安全で有効ながん治療を実践するための方法や考え方の習得を図っています。

本学会のがん専門薬剤師や薬物療法専門薬剤師、地域薬学ケア専門薬剤師の認定取得を目指す方を対象に、専門薬剤師に相応しい薬学的介入の症例サマリの書き方を習得するためのセミナーやワークショップを各認定制度ごとに開催しています。

2 学術誌・出版図書の発行



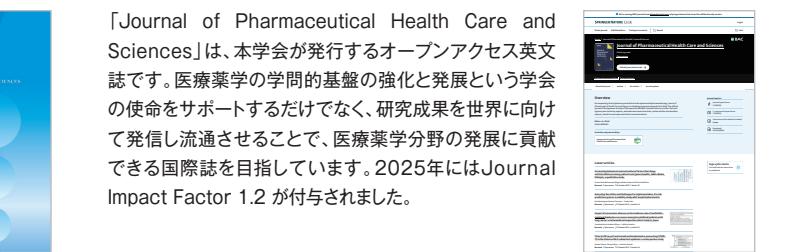
医療薬学誌

月刊誌「医療薬学」は国内向け学術誌で、厳正な査読により質が高く認められた医療薬学に関する投稿論文を掲載しています。和文だけではなく英文でも投稿が可能です。優れた研究成果を医療現場のみならず広く社会へ還元することを目指しています。掲載論文はJ-Stageでも閲覧可能です。



JPHCS誌

「Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences」は、本学会が発行するオープンアクセス英文誌です。医療薬学の学問的基盤の強化と発展という学会の使命をサポートするだけでなく、研究成果を世界に向けて発信し流通させることで、医療薬学分野の発展に貢献できる国際誌を目指しています。2025年にはJournal Impact Factor 1.2が付与されました。



病態を理解して組み立てる I～V

薬剤師が薬物療法に関わっていくために必要な51疾患の病態生理・検査・治療の知識と、処方提案のための具体的SOAPチャートの作成例を事例に基づいてわかりやすく解説した書籍です。



3 学会賞の表彰

8つの表彰制度で会員の功績を称え、成果の周知を行っています。
2025年度の表彰者は以下のとおりです。(振興賞は該当者なし)



功績賞

筑波大学附属病院
薬剤部
本間 真人さん



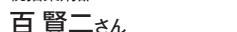
奨励賞

京都薬科大学
臨床薬剤疫学分野
豕瀬 諒さん



日本医療薬学会賞

大阪大学医学部附属病院
薬剤部
梅村 拓巳さん



学術賞

昭和医科大学
統括薬剤部
百 賢二さん



学術賞

吉川 直樹さん



調査研究

医療薬学領域における学術活動の推進および
学問的・技術的な向上を図ることを目的に、
公募により設定したテーマにそぐう調査研究課題を採択し、
研究資金の提供等の支援を行っています。



海外研修助成

海外の医療機関等での研修・見学や、
国際学会での発表を行う会員を助成しています。



5 専門薬剤師の認定

良質・安全な医療を提供するため、チーム医療において高度な専門性を発揮し活躍できる能力を有する薬剤師を養成・認定しています。現在、以下4つの認定制度において専門薬剤師・指導薬剤師を認定しており、国民の保健・医療・福祉に寄与しています。



医療薬学専門薬剤師制度



がん専門薬剤師制度



薬物療法専門薬剤師制度



地域薬学ケア専門薬剤師制度

